

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(104)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(104)—

#### 1. 始めに

前報(103)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7が加わっています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は器楽協奏曲です。

##### ANGEL AA-8165

モーツアルト フルート協奏曲 1 番ト長調

フルート協奏曲 2 番ニ長調

ミシュル・デボスト (フルート)

ルドルフ・バルシャイ指揮モスクワ室内管弦楽団

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

ANGEL 盤ということで、EMI、正相、第4時定数 High で聴いていきました。

フルート協奏曲 1 番、フルート協奏曲 2 番とも前報(103)に述べたとおり、明るく快活な曲です。

デボストのフルートは切れ味がよく、勢いのある演奏です。

バルシャイ指揮のモスクワ室内管弦楽団も爽やかで、細かい表現も行き届いており、デボストのフルートを支えています。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、上記の盤の特徴がよく把握できます。

以上